



新社会党東京都本部委員長

## 江原ひであきアピール 2004.5

江原ひであき事務所

中野区南台 2-32-1 電話(03)3381-7656 FAX (03)3383-8535

ホームページ <http://www7.ebara.or.jp/ebara-hideaki/>

Eメール [hide-eba@cameo.plala.or.jp](mailto:hide-eba@cameo.plala.or.jp)

### 参議院選挙で東京から日本の政治を切り拓こう！

自・公、民(米国追従)に対峙する新しい政治(アジアから世界へ)を。

そのために、やはり無所属「統一候補」をめざそう

アメリカ帝国の「終わりの始まり」が見えてきました。イラクへの一方的先制攻撃は、私たちが早くから指摘したとおり間違いだということが明白になっています。イラク人捕虜への拷問の実態が明るみに出るなど、アメリカの自由と民主主義、人権尊重のデタラメさが世界中の知るところとなりアメリカは世界から信頼を失いました。

しかし、日本の支配層は(小泉政権をして)野蛮国アメリカにまだ追従しています。

一方でヨーロッパにおいてはEUへの加盟が 25 カ国となり経済規模等でもアメリカに匹敵する大きな極を形成し、新しい歴史を刻み始めています

21 世紀も4年目を迎え、日本の針路が問われています。ところが日本の政治は自・公、民ともに大差はなく、世界一のテロ国家アメリカに追従するだけです。

このような状況の中で迎える参議院選挙に際し、私は、21 世紀の日本は、自・公、民に対峙する新しい政治を創らなければならないということを提起します。

第一に現在の国内情勢。第二に日本の支配層がめざす 21 世紀世界戦略。第三に私達がめざす 21 世紀の日本。第四に、そのために参院選で反自・公、民の統一候補を！ということについて。

### 、私達を取り巻く情勢は、

#### (1)国民生活が崩壊してきた。

、労働者の労働条件が急速に改悪されている。企業の再編統合が進められ巨大化する一方で、不採算部門を切り離し分社化する。その際、再雇用等の形をとり賃金をはじめ労働条件が大幅に改悪されている。そして、このような手法が社会全体に急速に広まり、リストラ、首切り、賃下げ、サービス残業等が当たり前のように強行される。さらに、正規の雇用が削減され契約社員、パートやアルバイトが急増している。

、中小商工業者に対して貸し剥がし、貸し渋り、単価の切り下げ等が強要される。また、お年よりや障害者等に対して医療を初め社会保障制度が改悪され負担は大幅に、給付は削減。その上福祉政策の縮小、

廃止が押し進められている。

## (2) 荒廃する日本社会！

小泉首相初め政治家の短絡的な言動が顕著になる中で、社会全体の思考力が低下し軽薄になり、粗雑で粗暴になっている。また、弱肉強食の論理の貫徹で貧富の差が急速に拡大してきた。こうした暴力的風潮や力の論理の横行で人権が軽視され、残忍な人殺しや凶悪犯罪が激増している。

## (3) 監視社会と強権国家へ突き進む！

悪政が続く結果、犯罪が急増する。根源にメスを入れず、力で秩序を維持しようと繁華街やマンション、町会や自治会まで、街のいたるところに監視カメラが設置され警察官が増強されている。最近では自治体までが無思想的に安全？ 条例など制定し、町会や自治会などに助成金？ を出して住民同士が監視するイヤな社会になってきた。

このような社会の在り方は、働く者や中小企業者等多くの国民にとってけっして容認はできません。なのに、このように大衆収奪をする政治が何故行われるのか！ 支配層はどのような日本を創ろうとしているのでしょうか？

## **、支配層(財界・多国籍資本)がめざす 21 世紀の日本。**

結論から言えば、世界戦略として本格的な「軍事経済大国」への道を歩み始めたことです。アメリカに追随し、競争を始めた財界・多国籍資本は小泉政権をして憲法違反の悪法を強行成立させてきました。特に、03 年は戦争参加への道へ急ハンドルを切り、有事三法の可決、イラク特措法、イラク復興支援法など強行可決し、ついに、全土が戦場のイラクに自衛隊(陸海空三軍)を派兵しました。

こうしたことから、支配層が経済的に新自由主義路線をひた走り、グローバルな活動を続ける超大企業を軸に再編統合が完成しつつあり、その権益を守るために軍事力を強化し、自衛隊を国軍に改め、海外に派兵し戦闘を可能にしたい、ということが明らかです。

すなわち、対外的には軍事力を背景にする力の論理であり、ときには戦争も辞さず他国の資源や富を収奪する路線です。しかも、国際平和の創造にしてもアメリカ追従型で、アジアの平和を自ら創造する戦略がありません(朝鮮共和国敵視)。国内的には劣悪な労働条件下での低賃金政策と小さな社会保障で国民を搾取する政策を強行していると言わなければなりません。

ここまでくると仕上げは憲法の明文改憲です。自民党は 05 年に改憲案を、民主党も 06 年には改憲案を提示するといひ、公明党も改憲だと言う。現憲法にはあれがない、これがないと言いながら支配層の狙いは九条です！ しかし、それだけではありません。現行憲法の生命を絶とうとしていることを肝に銘じなければならない。すなわち、前文の精神と主権在民、基本的人権を改悪しようとしているのは明らかです。

我々はこのような選択を断じて許さない！

## **、私達が創造する 21 世紀の日本！**

私達が 21 世紀にめざす日本は、支配層がめざす日本とは正反対です。イラクに駐留する自衛隊はただちに撤退させる。日米安保条約は解消し、アメリカとは距離を置く。朝鮮共和国とは正常化交渉を促進し国交回復を実現し、アジアに平和を創造する。

憲法は変えない！ 武力で平和は生まれない！ パレスチナを見よ、アフガンを見よ、イラクを見よ。なに一つ解決していない。それどころか紛争は世界に拡大してしまった。世界がきな臭くなってきた今こそ、武力を使わないで世界の問題を解決するとうたった日本国憲法の神髄を生かす国際政治を大きく展開するときです。

憲法は変えない！ 前文の精神も主権在民も基本的人権もいささかも変えない！ 人のくらしと命を大切に、差別や貧困をなくし人間の尊厳を大事にする。殺し合いを続けてきた人間社会にあって 21 世紀こそ日本の憲法を世界に広げるときです。私達は、日本からアジアに世界に非戦、非武装の平和を発信する政治を確信を持って創造しなければなりません。

## **、そのために、参院選で 反自・公、民の統一候補を！**

参院選の公示まであと 45 日、予定候補者は自・公、民で 4、共、社、みどり他無所属数名が予想されています。特に、反自公民が乱立気味です。このままでは勝利の展望を見いだすことは困難です。

先に述べた私達がめざす 21 世紀の日本を切り拓くためには、「強力」な無所属候補を擁立し、そこに一本化することを真剣に追求する事が不可欠です。私も新社会党もそのことを「声を大にして」訴えます。

(04, 05, 10 江原ひであき)